

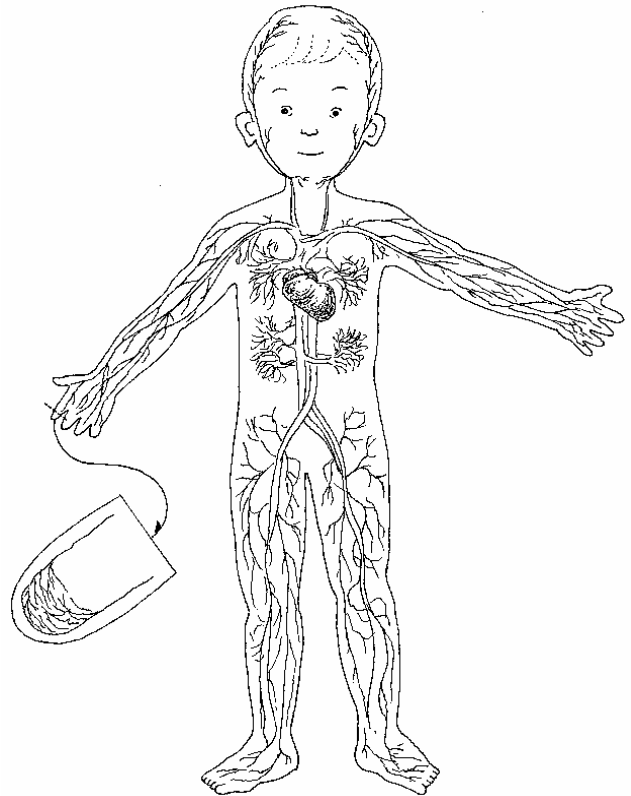


「おちんちん」にも血は流れているの

血は体のどんなところにも流れている

血は、手や足の指先のように、細くなっているところにも流れています。もちろん、おちんちんにも、ちゃんと血は流れています。血（血液）は、心臓から、体のどんなところへも送られていきます。体じゅうに、血を運んでいくのが血管です。

心臓から出た血管は、はじめは太く、太い血管から、枝のように別れていくと、だんだんと細くなって、やがて最後には、見えないくらいまで細くなります。これを毛細血管といいます。そして、こんどは、細い血管からだんだん太い血管になって、心臓へもどってきます。心臓から出ていく血管を動脈、もどる血管を静脈といいます。



血はからだを温めている

血は、体内でつくられた熱で温められ、その血液は体表近くまで血管で運ばれて、体を温めたり、皮ふから体内の熱をにがしたりしています。

おしっこをするときに、おちんちんにさわっても、おちんちんが冷たくないのは、おちんちんにも、血が流れている証拠です。（監修・保志 宏）

